慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学国文学研究室蔵「道成寺縁起絵巻」解題・影印
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2005
Jtitle	三田國文 No.41 (2005. 6) ,p.49- 60
JaLC DOI	10.14991/002.20050600-0049
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20050600-0049

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学国文学研究室蔵［道成寺縁起絵巻］解題・影印

石川　透

解題

『道成寺縁起絵巻』は、紀州の道成寺を舞台にした話で、古くからよく知られた作品である。道成寺では、現代においても、中世の絵巻をもとに、絵解きが行われている。また、この話は、能『道成寺』としてもよく知られ、その影響下にさまざまな舞踊が作られ、現代でもしばしば演じられている。

このように、よく知られた作品であるために、絵巻としても数多く作られている。基本的には、道成寺に伝わる『道成寺縁起絵巻』をもとにしているのであるが、江戸時代には、絵も詞書きも大きく変容してしまった作品が存在しているのである。

御伽草子の各作品の製作は、多くが江戸時代前期から中期で終わるのに対して、この『道成寺縁起絵巻』の製作は、江戸中後期から近代に至るまで続くのである。

そのような作品の例として、本書を影印のかたちで紹介する。

本書の書誌は以下の通りである。

所蔵、慶應義塾大学国文学研究室

番号、ＪＬ二Ａ・一一九五

形態、絵巻、一軸

時代、［江戸中後期］写

寸法、縦三〇・〇糎

表紙、萌葱色金繍表紙

外題、なし

内題、なし

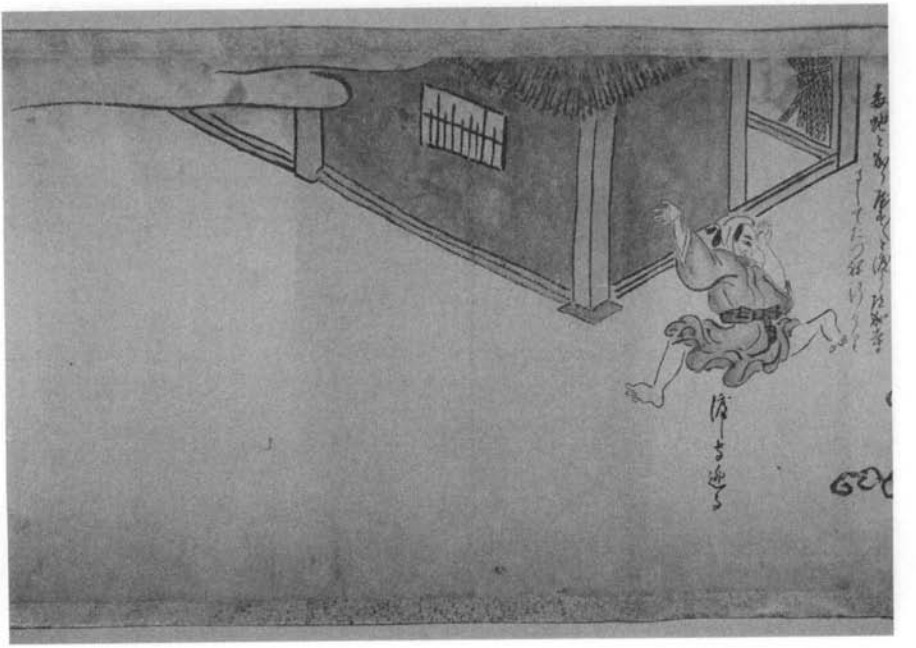
料紙、斐紙

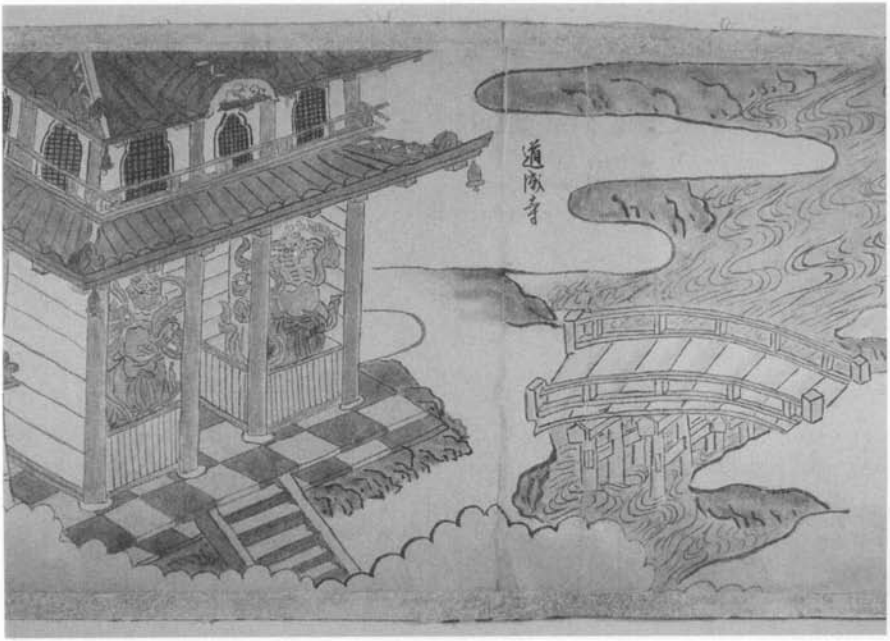
字高、二四・一糎

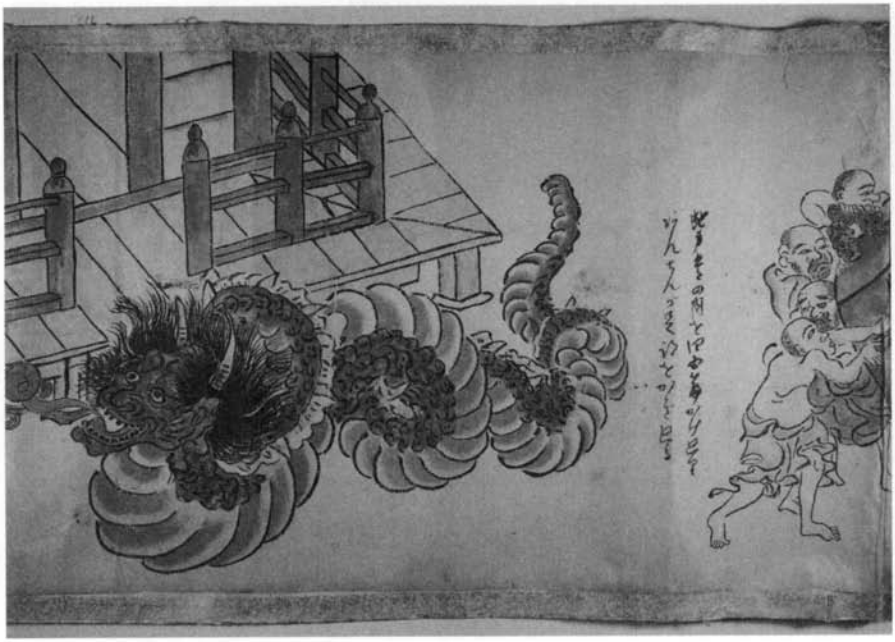
奥書、なし

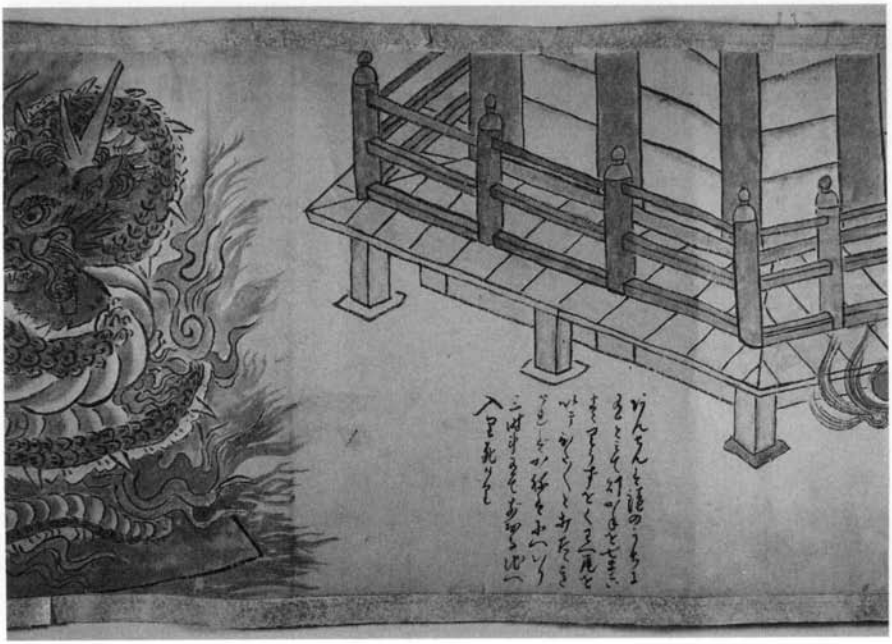
以下に、慶應義塾大学国文学研究室蔵［道成寺縁起絵巻］を順番通り、影印で掲出する。

天日川




通陰寺





正直捨方便
但說無上道